

ELECTRONIC MAIL DEVICE

Patent Number: JP5014405
Publication date: 1993-01-22
Inventor(s): TANIBAYASHI YOICHI
Applicant(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP
Requested Patent: JP5014405
Application Number: JP19910164476 19910704
Priority Number(s):
IPC Classification: H04L12/54; H04L12/58; G06F13/00; H04L29/12
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To obtain the electronic mail device in which a sender does not send directly relevant information relating to an electronic mail and a receiver easily collects the relevant information as required.

CONSTITUTION:When the user 7 at the receiver side selects relevant information identifier 11 or 12 included in an electronic mail received by the user, a relevant information request is sent to a relevant information processing section 8 through a user interface section 6 and a processing section 3. The relevant information processing section 8 sends the relevant information request to an electronic mail device 1 at the sender side storing the relevant information on request. On the other hand, the electronic mail device 1 at the sender side receiving the relevant information request sends the relevant information stored in the relevant information processing section 8.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

【実施例】実施例1、図1はこの発明による一実施例の

電子メール装置の構成図である。1は電子メール装置、2は送信部、4は送信部、5は受信部、7は利用者で、8は関連情報の蓄積及び関連情報別子から関連情報を要求の生成を行う関連情報処理部である。また、処理部3は從来の機能の他に、ユーザインターフェース部6からの関連情報別子または他の電子メール装置1から受信部5を経由し送られてきた関連情報要求を認識し関連情報を取り出し、処理部3、送信部4を経由し要求した電子メール装置1に送り返す。要求した側の電子メール装置10で受信された関連情報は、関連情報処理部8に送られる。

さらに電子メール装置6には、関連情報を要求するためのコマンドが追加されている。
【0012】図2は本実施例に使用する電子メールの書式で、1.1はヘッダ部9、1.2は本文1.0に各々指定された関連情報別子であり、関連情報を一意に指定するため関連情報が位置するホスト名とファイル名で構成されている。ここでホスト名とは、ネットワーク全体で電子メール装置1を一意に特定するための名前または記号であり、ファイル名とは、各電子メール装置1内で関連情報を一意に特定するための名前または記号である。

【0013】次に図1、2を用いて動作について説明する。まず電子メールを送信する場合について述べる。送信側の利用者7は、送信する電子メールの関連情報を、電子メール装置1にインプットする。その関連情報は、ユーザインターフェース部6、処理部3を経由し、関連情報処理部8に蓄積される。そして利用者7は、関連情報別子1または1.2を附加した電子メールを電子メール装置1にインプットする。インプットされた電子メールは、ユーザインターフェース部6を経由し処理部3に送られ、処理部3は電子メールを送信部4に送り、次に同様に相手側の電子メール装置1に送信する。

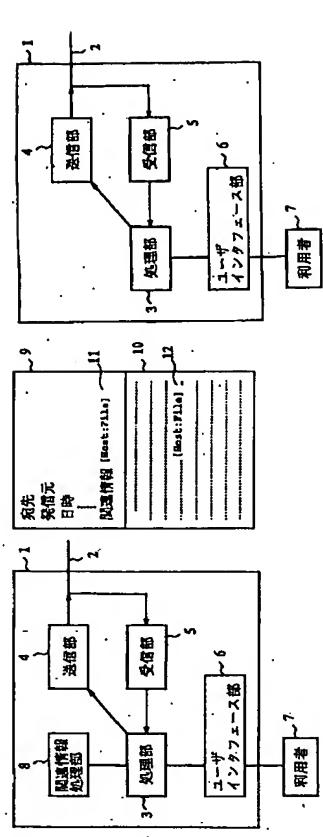
【0014】送信された電子メールは、受信部5を経由し処理部3に送られる。受信側の利用者7が送られてきた電子メールを抽出するときは、従来例と同じに処理部3に蓄えられている電子メールが処理部3より出力される。

【0015】次に受信側の利用者7が関連情報を要求するときの動作について述べる。利用者7が必要な関連情報を上記関連情報別子1または1.2を電子メール装置1にインプットすると、その要求はユーザインターフェース部6、処理部3を経由し関連情報処理部8に送られ

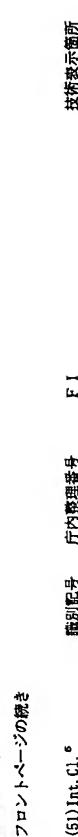
【図1】

【図2】

【図3】



【図4】



フロントページの焼き

(5) Int. Cl. 6 機別記号 執内整理番号 FI H 04 L 29/12

技術表示箇所

【図1】この発明の一実施例による電子メール装置を示す構成図である。

【図2】この発明の一実施例による電子メールの書式を示す構成図である。

【図3】從来の電子メール装置を示す構成図である。

【図4】從来の電子メールの書式を示す図である。

【符号の説明】

3. 処理部
8. 関連情報処理部
1.1. 関連情報別子 (ヘッダ部)

40 1.2. 関連情報別子 (本文)

41 部 6. 処理部3を経由し関連情報処理部8に送られ